

# 秘密の部屋

中野  
劇団

# 秘密の部屋

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

女

後輩

後輩 (声)　こんばんは。先輩？　いますか？　何か最近先輩がサークル

に顔出さへんから見て来いって言われたんですが。入っていいで

すか？　入りますよ？　おじゃまします。

凄く汚い部屋。ペットボトル、雑誌、新聞紙、コンビニの袋、カップラーメンの食べ跡やら下着やらが床に散乱している。啞然とする後輩。女、毛布にくるまって眠っている。

後輩 ……何これ。 ……先輩？ 先輩？

後輩、女を揺すり起こす。女最初は手で振り払う。後輩がしつこく起こし、微睡みながら目を覚ます。後輩に気づき、さっと距離を開ける女。青い服を着ている。

後輩 先輩、これは……。

女 私の秘密の部屋。みんなには内緒。怖がるといけないから。

後輩 ……え？ 何ですか？ ……ええ？

部屋を見回す後輩。足下が不安定。

後輩 どうしたんですか、先輩。部屋凄いいことになってますやん。

女 いいえ。父はまだまだだって。

後輩 ……何がですか？ これ、ちよーっと、散らかってるとかってレ

ベルちゃいますけど。 ……先輩がね、部活来おへんから、来年の、

もうそろそろエントリーするんか、決めなあかんし、それで来たんですけど……。

女

……。

後輩

どうします？ 鳥人間。

女

……。

後輩

てか、話するにしても、これ……。取り敢えず要らんもん捨てま

しよつか。俺、片づけるの手伝いますし。

女

ありがとうございます！

後輩

……うん。(ボソ) うわ……。空気が何か、黄色いですやん……。

ちよっと、目え痛い。

……。

女

背負っていたリュックを置いて床のゴミを漁る後輩。

後輩

うわ、何やこれ臭！

残飯。強い汚臭を放っている。

女 風上へ！

後輩 何がですか？ え？ 何ですか？ 「風上へ」って何ですか。大丈夫

夫ですか？

女 ……。

後輩 ああ、凄いなあ……。

女。床に落ちている食品を拾う後輩。しゃがんで床のきのこか何かをじっと見ている

後輩 ……うわあ。これほら、これなんかほらもう腐ってますやん。

女 大丈夫。

後輩 え何が？

女 痺気は出していません。

後輩

……ん？ いや、何ですか？ 痺気って。何のことかわかんないですけど、ちょっと出てると思いますよ？

女

……。

後輩

……これせやけど、あんまり酷かったら近所の人に通報されることもありますよ？ あんまり考えてなさそうですけど。

女

私、古い言い伝えだとはかり思っていました。

後輩

そっか。(首をかしげる) ……あの、片づけを。

ゴミを拾う後輩。片づけに参加しない女。

後輩

……こんなことしに来たんちゃうねんけどなあ。

後輩、ゴミの中からこんにやくを発見する。ぶらんぶらんしている。

後輩

……。

女

……。

後輩 こんにちはやく出てきたあ。

女 ……。

後輩 わあ、めっちゃこんにやく落ちてますやん。ええ？ 何でこんなこんにやくあるんですか？ 主食？

女 とっても栄養があるのよ。

後輩 ないです、ほとんど。これはええ？ 何で（こんなところに）――

女 うふふふふふ！

後輩 ……。こんなん何で冷蔵庫に入れとかないんですか？ せやから腐るんやないですかあ。てかないですねえ冷蔵庫。ええ？ 何で冷蔵庫ないんですか？

女 あんなものになすがって生きのびてなんになろう。

後輩の集めたゴミを後輩のリュックに詰め直す女。

後輩

いやあ、少なくともこの状態にはなっていないと思いますよ？（女の行動に気づき）何やってるんですか！……すいません、ちよ、トイレ借りていいですか。トイレ。……こっち？

トイレに行こうとする後輩を引き留める女。

後輩

え？ 何？ トイレ……。

女

この先はおまえの世界ではないのよ！

後輩

何それどういうことですか？ 凄いことになってるってことです

か？ ええ？ もういいです。えっと、僕の貸した漫画とかも埋

もれてるんじゃないですか？

女

大丈夫。

後輩

そう？

女

みんな燃えたわ。

じつと女を見る後輩。



後輩 ……ああ。何やってんですか？ マジで？

女 あら、私がウソついたことあった？

後輩 いやあ開き直られても困りますわ。

女 ね？

後輩 何が？ ええ？ もう、ちょっと何か信じられませんわ……。マ

ジっすか。

ドン引きでちょっと後ずさり気味の後輩。

女 (ボソ) あなたは何を怯えているの。まるで迷子のキツネリスのよう  
うに。

後輩 ……ええ、どうしたんですかあ？ 先輩。

女 (ボソ) 怖がらないで。私はただあなたに、自分の国へ帰ってもら  
いたいだけ。

後輩

えっと僕、何じんすか。先輩こそ戻って来て下さいよ。ほんで、できたらもう少しおっきい声で喋って下さい。ちっちゃい声でぼそぼそ喋られると、悪いけどちよっと引いてまいりますから。

女

もう寝ましょう。明日……たくさん……飛ばな(きや)。

万年床に入る女。

後輩

うん、寝る前に片づけましょ？ ほんで、飛ぶとか意味わからんし。ねえ？ 起きて下さいよ？ ちよ。

起きる女。

後輩

ゴミ袋ありますか？

女

……。

後輩

ゴミ袋？

女

ごめんね。話すのが遅れて。

後輩 いや、そんな。……大袈裟な。……ま、じゃあ取り敢えず……。

取り敢えずゴミを拾い集める後輩。

後輩 おーっと、ゴキブリ！

女 ……。

後輩 ゴキブリ！ ほらそこ！ 先輩？

後輩が示す方とは違う方の床にしゃがみ込み、ゴキブリホイホイを覗いている女。

後輩 何やってんすか？

女 蟲たちがいない。なぜかしら。こんなに胸がドキドキする。

後輩 だから部屋中に逃げてるんすよ。ゴキブリホイホイから逃げ出すつて、ちよっと進化してるんちやいますか。あーほら、そこそこ！

そっち逃げた！

女 海岸に誘導する！

後輩

うん、いや、捕まえて下さって！ ちょっと意味がわかりませ  
んから。ほんで、海岸とかないし。それほらティッシュで。

女

やってみる！

後輩

いやもう返事はええんですけど。

ゴミをゴミ袋に入れる後輩。

後輩

せやけど、こんな部屋汚くしてたらあきませんってホンマ。

女

……あなたもクシヤナと同じように言うのね。

後輩

誰ですかそれ。誰か知りませんけど誰でもそない言うと思います  
よ？

女

静かに！ 怒らせては駄目！

後輩

すいません。取り敢えず、せめて床が見えるくらいに……。

女

おのれー！ へ！（ゴキブリをつかまえている）へ！ へあ！

……へあ！ へええ！ ぐあああ！ へえ！ ぐうう！ へ！

とあ！ ひえええええっつ！  
……。 (半笑いボソ) もう嫌や……。

後輩

ただじっと見ているだけしかできない後輩。女、捕まえたらしい。

女 ……私、自分が憎い。

後輩 ハア!?

憎しみにかられて、何をするかわからない。

女

だ、大丈夫ですから、次は落ち着いてちゃんとティッシュ使って捕まえましょっか。ほら、そんな握りしめたら……。ああ、そんなに捕まえて……。僕の部屋も汚いってよく言われますけど、ここに較べたら全然ましですよ。

女 (マスク) マスクをしなければ五分で肺が腐ってしまう死の森なのに……。

後輩 そんなことないですよ。それ、この部屋でしょ？

女 汚れているのは土なんです！

後輩 部屋です！

女 あなたは腐海を何もわかっていない。

後輩 そうですか？ 不快ですよ？ 何か、さっきから――

女 怒りに我を忘れている。鎮めなきゃ！

後輩 ……いや、別にそこまで思っていないですけど。ちょっとびっくり

しただけで。そういうのできたら口に出して言わずに心の中で処

理してほしいんですけど。え？ そんなに怒ってる風に見えます？

女 おびえていたただけなんだよね、フフ。

後輩 ……。僕、ここ片づけときますんで、コンビニで殺虫剤買って来

てくれますか。あとマスクも。

女 私たち、マスクをしてない。

後輩 だから、買って来て下さい。

女 やってみる！

後輩 うんあの……。

女、部屋を出ようとする。

女 一時間して戻らなければ谷に帰りなさい！

女、部屋を出て行く。

後輩 あかんで！ 先輩！ 先輩！ 手！ 手！ ゴキブリ！

追いかける後輩。終わり。